

2020年1月30日
カールツァイス株式会社
株式会社理研鼎業

ZEISS と理研鼎業、バイオエンジニアリングとイメージデータ・マネージメント分野を中心とする共創契約の締結を発表

日本 東京 2020年1月30日

カールツァイス株式会社(東京都千代田区、代表取締役 シュテファン・サクレ 以下「ZEISS」)と株式会社理研鼎業(本社:埼玉県、代表取締役:油谷 好浩 以下「理研鼎業」)は、国立研究開発法人理化学研究所(本社:埼玉県、理事長:松本 紘 以下「理研」)の研究成果を新たな事業の創出につなげ社会へ還元することを目指し、バイオエンジニアリングとイメージデータ・マネージメント分野を中心とするアプリケーションを探求するための共創事業の契約を締結しました。本契約により、理研の広範な研究分野のうち、特に計算科学分野やライフサイエンス分野の知見と ZEISS の光学機器分野の技術成果の融合により、医療工学のイノベーションを促進し、ヘルスケア分野にパラダイム転換を促します。

ZEISS のシュテファン・サクレ社長(Dr. Stefan Sacré, President of Carl ZEISS Co. Ltd. (Japan))は、「最先端の研究は、画期的な考えだけでは達成できず、先進的な科学の設備とその設備の最適なマネージメントが必要であり、効率的な技術開発を行う為には、最先端の機器とイメージデータの画期的なマネージメントが不可欠です」と述べています。理研の優れた研究開発の成果や基盤技術開発の知見は理研と ZEISS の共同研究の課題の創出の重要な基盤になると期待されています。

[松本理事長のコメント]

「今回の共創契約により、高精度な顕微鏡などの光学機器メーカーとして国際的に高い信頼を得ている ZEISS と理研は、従来の個別課題にフォーカスした連携とは異なる、新たな形の連携構築を目指します。ZEISS の皆様と理研の様々な分野の研究者達が自由闊達に議論し、理研鼎業が両者の戦略策定に貢献するとともに、本格的な共同研究や新規事業開拓などの具体的な活動に発展することを期待しています。」

[油谷社長のコメント]

「理研鼎業は、2019年9月5日に設立された理研100%出資の子会社です。理研の産学連携を担う外部法人として、研究成果の社会還元、産業界との連携などの業務をより促進・発展させることを目的に活動しています。この度、ZEISS という伝統ある光学・オプトエレクトロニクス界の巨人と共創契約が締結できることを大変嬉しく思います。今後、理研鼎業の総

力を挙げて ZEISS と理研との大型連携活動を実現し、科学技術で社会に貢献します。」

ZEISS について

光エレクトロニクス及び光学のテクノロジーにおいて世界規模のリーディングカンパニー。前年度において研究開発、医療技術、消費者市場、半導体製造技術の分野で 58 億ユーロ以上の年商（2018 年 9 月 30 日）。

今後の成長分野として、デジタル化、ヘルスケア、及び先進製造技術が期待され、強力なブランドを活かし、光学や光エレクトロニクス以外の分野にも広く進出する。ZEISS は研究開発に大きく投資し、これによりテクノロジーやマーケットのリーダーとして成長を続ける。

販売・サービスの関連会社約 60 社、製造拠点 30 箇所以上、開発拠点約 25 箇所、にて総社員数約 30,000 人が約 50 ヶ国で活発に事業を展開。ZEISS は 1846 年に Jena で設立され、本社はドイツ Oberkochen。カール・ツァイス財団はドイツで最も大きな科学に特化した財団であり、持株会者 Carl Zeiss AG を所有する。詳しくは www.zeiss.com 参照。

理研について

理研は、日本で唯一の科学技術の総合研究所として、物理学、工学、化学、数理・情報科学、計算科学、生物学、医科学など幅広い分野において、先導的な研究を推進するとともに、我が国の産業発展のための研究開発や成果の普及を進めている。和光、神戸、大阪、東京、播磨、横浜を含む国内 10 箇所に研究拠点を持っている。詳しくは <http://www.riken.jp/> 参照。

株式会社理研鼎業について

科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律の定めるところにより、理研の完全子会社として 2019 年 9 月 5 日に設立。理研鼎業は産学連携事業等を管轄し、理研の研究成果の迅速な社会還元及びイノベーションの創出をミッションとする。詳しくは <http://www.innovation-riken.jp> 参照。

【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社理研鼎業 戦略企画部 担当：山橋、ケーリ

Tel 048-235-9308 〒351-0198 埼玉県和光市広沢 2 丁目 1 番

Email [contact \[at\] innovation-riken.jp](mailto:contact[at]innovation-riken.jp) ([at]を@に置き換えてください)